2023 年度入学生用履修力ルテ

神戸常盤大学教育学部こども教育学科

学籍番号

神戸常盤大学教育学部こども教育学科

履修カルテ

【目的】

教職実践演習(幼・小・中)は、教員になる上で自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に 応じて不足している知識や技能等を補い、更なる向上を目指すことを目的とした科目です。教員免許 状取得の必修科目であり、4年次後期に履修します。

この教職実践演習(幼・小・中)を履修するにあたって、科目の目的を達成するための準備として、 免許状取得に必要な科目の履修を始めてから教職実践演習(幼・小・中)の授業を受けるまでの間に各 自で履修カルテを作成しなければなりません。教職実践演習(幼・小・中)の中で活用します。

また、履修カルテは教員免許状取得を目指して科目履修している学生ひとりひとりの学習状況を、 きめ細かく把握するためのものでもあります。

【作成時期】

入学1年目から教職実践演習(幼・小・中)の授業終了まで、継続して作成します。

【内容】

「履修状況:幼稚園教諭1種免許状用、小学校教諭1種免許状用、中学校教諭1種免許状(理科)用」、「自己評価シート」から構成されています。

【完成までの流れ】

1回目:1年生ゼミで一部記入。

2回目:1年次末までの内容を2年生ゼミで作成。

3回目:2年次末までの内容を3年生ゼミで作成。

4回目:3年次末までの内容を4年生ゼミで作成。

5回目: 4年前期までの内容を「教職実践演習(幼・小・中)」の初回授業時に作成。

6回目:学修の総まとめとして「教職実践演習(幼・小・中)」の終了時に作成。

※全期間中にゼミ担当教員からの中間確認コメントが2回記入されます。

【注意事項】

履修力ルテの作成をしない場合、「教職実践演習(幼・小・中)」の履修は認められませんので、十分注意してください。

【所属コース】

養成コース:コース変更 年 月 養成コース

1 幼稚園教諭一種免許状用(学生便覧も参照すること)

●教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名	単位数	評価	修得年度 (西暦)	
日本国憲法	日本国憲法			年度	
体育	健康スポーツ科学 Ι			年度	
	健康スポーツ科学Ⅲ			年度	
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション [年度	
ア国品コミューグ・フョン	英語コミュニケーション Ⅱ			年度	
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	情報基礎			年度	
	情報メディア演習			年度	
●単位数:8単位修得					

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●領域及び保育内容の指導法に関する科目

	「内谷の指導法」(関 に定める科目区分等	授業科目名		評価	修得年度
科目	各科目に含めることが 必要な事項	汉朱竹百石	単位数	н іщ	(西暦)
	健康	子どもと健康(選	尺)		年度
	人間関係	子どもと人間関係(選	尺)		年度
	環境	子どもと環境(選	尺)		年度
領域に関する専門 的事項	言葉	子どもと言葉			年度
		子どもと造形表現(選	尺)		年度
	表現	子どもと音楽表現(選	尺)		年度
		子どもと身体表現(選	尺)		年度
		保育内容総論			年度
		保育指導法			年度
		保育内容(健康)			年度
保育内容の指導法		保育内容(人間関係)			年度
(情報機器及び教材	†の活用を含む。)	保育内容(環境)			年度
		保育内容(言葉)			年度
		保育内容(造形表現)			年度
		保育内容(音楽表現)			年度
●単位	 位数:本学の定める免許	状取得のための必修科目(選択必修科目の	単位数を含	む) 22単	位

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

	付日]、 教育美践 関9	拉华拉口 4	六 午 本	-3.7. /m²	修得年度
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数	評価	(西暦)
	教育の理念並びに教育に関する歴史及 び思想	教育原理 数育の思想と歴史 (選択)			年度
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論			年度
教育の基礎的理 解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全 への対応を含む。)	教育行政学			年度
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程	教育心理学			年度
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解	特別支援教育			年度
	教育課程の意義及び編成の方法(カリ キュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論			年度
道徳、総合的な	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法•技術論			年度
学習の時間等の指導法及び生徒	幼児理解の理論及び方法	幼児理解			年度
指導、教育相談	教育相談(カウンセリングに関する基礎的	教育相談			年度
等に関する科目	な知識を含む。)の理論及び方法	カウンセリングの技法 (選択)			年度
	教育実習	教育実習指導(幼稚園)			年度
教育実践に関す る科目	教 月天白	教育実習(幼稚園)			年度
	教職実践演習	教職実践演習(幼・小・中)			年度
	●単位数:本学の定める免	許状取得のための必修科目 24単位	Ī.		

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名		単位数	評価	修得年度 (西曆)
	インターンシップB ((選択)			年度
大学が独自に設定する科目	ピアノ実践奏法	(選択)			年度
	教育と情報 ((選択)			年度

●選択科目

●単位数:本学の定める免許状取得のための必修科目(「(選択)」の印のついている科目) 5単位

※ただし、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の「(選択)」の印のついている科目のうち既にカウントした科目を除く。

修得单位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

単位

2 小学校教諭一種免許状用(学生便覧も参照すること)

●教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名	単位数	評価	修得年度 (西暦)	
日本国憲法	日本国憲法			年度	
比	健康スポーツ科学 [年度	
体育	健康スポーツ科学Ⅲ		•	年度	
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション I			年度	
アド国 田 ユベエーグ ション	英語コミュニケーションⅡ			年度	
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	情報基礎			年度	
	情報メディア演習			年度	
●単位数:8単位修得					

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則	に定める科目区分等	运 业公日 5	単位数	## /##	修得年度
科目	各科目に含めることが 必要な事項	授業科目名		評価	(西曆)
	国語(書写を含む。)	国語			年度
	社会	社会			年度
	算数	算数			年度
	理科	理科概論			年度
教科に関する専門	生活	生活(選択)			年度
的事項	家庭	家庭(選択)			年度
	音楽	小学校音楽(選択)			年度
	図画工作	小学校図画工作(選択)			年度
	体育	小学校体育(選択)			年度
	外国語	小学校英語			年度
	国語(書写を含む。)	教科指導法(国語)			年度
	社会	教科指導法(社会)			年度
	算数	教科指導法(算数)			年度
	理科	教科指導法(小中学理科)			年度
教科の指導法(情 報機器及び教材の	生活	教科指導法(生活)			年度
活用を含む。)	家庭	教科指導法(音楽)			年度
	音楽	教科指導法(図画工作)			年度
	図画工作	教科指導法(家庭)			年度
	体育	教科指導法(体育)			年度
	外国語	教科指導法(外国語)			年度
● 単	 位数:本学の定める免許	状取得のための必修科目(選択必修科目の単位	立数を含む	』)33単位	<u>————</u>

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次

●「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

守に対する	科目」、「教育実践に関する科目」				
免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	単位数	評価	修得年度 (西暦)
科目	各科目に含めることが必要な事項				(四月)
	教育の理念並びに教育に関する歴史及	教育原理			年度
	び思想	教育の思想と歴史 (選択)			年度
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論			年度
教育の基礎的理 解に関する科目	教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全 への対応を含む。)	教育行政学			年度
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学			年度
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解	特別支援教育			年度
	教育課程の意義及び編成の方法(カリ キュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論			年度
	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践			年度
道徳、総合的な	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法			年度
学習の時間等の	特別活動の指導法	特別活動の指導法			年度
华道 数去扣款	教育の方法及び技術(情報機器及び教材 の活用を含む。)	教育方法•情報通信技術活用論			年度
	生徒指導の理論及び方法	生徒·進路指導論			年度
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談			年度
#/ -he-phage > 100 >	教育実習	教育実習指導(義務教育)			年度
教育実践に関す る科目	₩ ₽₩₽	教育実習(義務教育)			年度
	教職実践演習	教職実践演習(幼・小・中)			年度
	●単位数:本学の定める免	許状取得のための必修科目 30単位	Ĺ		

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●大学が独自に設定する科目

●人子が独自に設定する符目						
免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名	単位数	評価	修得年度 (西暦)		
	介護等体験			年度		
大学が独自に設定する科目	インターンシップA (選択)			年度		
	インターンシップB (選択)			年度		
●単位数:本学の定める免許状取得のための必修科目 1単位						

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

3 中学校教諭一種免許状(理科)用(学生便覧も参照すること)

●教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名	単位数	評価	修得年度 (西暦)	
日本国憲法	日本国憲法			年度	
tr 本	健康スポーツ科学 Ι			年度	
体育	健康スポーツ科学皿			年度	
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション I			年度	
アド国 田 ユベエーグ ション	英語コミュニケーションⅡ			年度	
数理、データ活用及び人工知能に関する 科目又は情報機器の操作	情報基礎			年度	
	情報メディア演習			年度	
●単位数:8単位修得					

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則	+の指導法に関する に定める科目区分等 各科目に含めることが	授業科目名		単位数	評価	修得年度 (西曆)
科目	必要な事項					(四倍)
		<u>物理学概論</u>				年度
	物理学	生活と物理	(選択)			年度
		物理学特論	(選択)			年度
	物理学実験(コン ピュータ活用を含む。)	<u>物理学実験</u>				年度
		化学概論				年度
	化学	生活と化学	(選択)			年度
		化学特論	(選択)			年度
	化学実験(コンピュータ 活用を含む。)	化学実験				年度
教科に関する専門 的事項	生物学	生物学概論				年度
		生物と環境	(選択)			年度
		生物学特論	(選択)			年度
	生物学実験(コン	生物学実験				年度
	ピュータ活用を含む。)	野外生物学実習	(選択)			年度
		地学概論				年度
	地学	地球と環境	(選択)			年度
		地学特論	(選択)			年度
	地学実験(コンピュータ 活用を含む。)	<u>地学実験</u>				年度
		理科概論	(選択)			年度
	導法に関する科目にお 合わせた内容に係る科目	理科実験指導法	(選択)			年度
		サイエンス・コミュニケーション	(選択)			年度

●教科及び教科の指導法に関する科目 つづき

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	単位数	評価	修得年度
科目	各科目に含めることが必要な事項		, ,		(西暦)
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		教科指導法(小中学理科)			年度
		教科指導法(中学理科) I			年度
		教科指導法(中学理科)Ⅱ			年度
		教科指導法(中学理科)Ⅲ			年度

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

●「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談 等に関する科目」、「教育実践に関する科目」

各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数	評価	/·
			•	(西暦)
教育の理念並びに教育に関する歴史及	教育原理			年度
び思想	教育の思想と歴史(選択)		•	年度
教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論			年度
教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全 への対応を含む。)	教育行政学			年度
当の過程	教育心理学			年度
特別の支援を必要とする幼児、児童及び	特別支援教育			年度
数玄調和の音美及び領比の古法(カ)]	教育課程総論			年度
	道徳教育の理論と実践			年度
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法			年度
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	特別活動の指導法			年度
教育の方法及び技術(情報機器及び教材 の活用を含む。)	教育方法•情報通信技術活用論		_	年度
生徒指導の理論及び方法	生徒•進路指導論			年度
教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談			年度
	教育実習指導(義務教育)			年度
	教育実習(義務教育)			年度
教職実践演習	教職実践演習(幼・小・中)			年度
(2) 教事へは監禁生教を首一総一、特別の生物は、教	チーム学校運営への対応を含む。) 対育に関する社会的、制度的又は経営的 類項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 切児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び 造徒に対する理解 対育課程の意義及び編成の方法(カリー・コラム・マネジメントを含む。) 道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 対育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) に徒指導の理論及び方法 対育相談(カウンセリングに関する基礎的 会知識を含む。)の理論及び方法 対育実習	大歌の意義及び教員の役割・職務内容 チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全 の対応を含む。) カ児、児童及び生徒の心身の発達及び学 者の過程 時別の支援を必要とする幼児、児童及び ・徒に対する理解 を育課程の意義及び編成の方法(カリー・ユラム・マネジメントを含む。) カにの理論及び指導法 を合的な学習の時間の指導法 を合的な学習の時間の指導法 を持別活動の指導法 を持別活動の指導法 を有の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) をは指導の理論及び方法 を有相談(カウンセリングに関する基礎的 を知識を含む。)の理論及び方法 を有相談(カウンセリングに関する基礎的 を知識を含む。)の理論及び方法 を有書習 を有書習 を有書習 を有書習 を有書習 を有書習 を有書習 を有書習	な職の意義及び教員の役割・職務内容 チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的 す項(学校と地域との連携及び学校安全 の対応を含む。) 対別、児童及び生徒の心身の発達及び学 表別の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び 特別支援教育 特別支援教育 教育課程の意義及び編成の方法(カリー・コラム・マネジメントを含む。) 道徳の理論及び指導法 (会合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 (教育の方法及び技術(情報機器及び教材) の活用を含む。) (主徒指導の理論及び方法 (教育相談(カウンセリングに関する基礎的 を知識を含む。)の理論及び方法 (教育実習	大麻の意義及び教員の役割・職務内容 チーム学校運営への対応を含む。) 対育に関する社会的、制度的又は経営的 な育に関する社会の連携及び学校安全 の対応を含む。) 切別の支援を必要とする幼児、児童及び 提供と対する理解 対育課程の意義及び編成の方法(カリー・コラム・マネジメントを含む。) 道徳教育の理論と実践 さら的な学習の時間の指導法 お育の方法及び技術(情報機器及び教材) 活用を含む。) お育の理論及び持済法 お育の方法及び技術(情報機器及び教材) 活用を含む。) お育相談(カウンセリングに関する基礎的) お育実習 教育実習指導(義務教育) 教職実践演習(幼・小・中) 教職実践演習(幼・小・中)

修得単位数(積算単位数) 1年次 単位 2年次 単位 3年次 単位 4年次 単位

4 学外実習及び課外活動の記録

●学外実習

授業科目名	実施学校園名	実施期間	備考:配当学年など
インターンシップA			
教育実習(幼稚園)			
教育実習(義務教育)			
インターンシップB			
介護等体験			
その他			
保育·教育実践演習Ⅰ, 保育·教育実践演習ⅡA,			
保育・教育実践演習ⅡB, 保育実習等含む			

●課外活動(ボランティア含む)

実施団体など	イベント名など	実施期間	実施場所など

[※]不足の場合は各自で別紙に欄を作成し、ここに貼っておいてください。

自己評価シート<1年次末>

各項目の内容について、「授業で学習した(授業)・学外実習で実践した(実習)・課外等で経験した(課外)」のいずれかあてはまるものを〇で囲み(複数回答可)、自己評価してください。数字は最終ページにも転記してください

項目		評価する際に	思い浮かべた具体的な科目や活動・所感	評 価
学校教育 の理解	教育の理念・歴史・思想に対する基 礎理論・知識が習得できた	授。実。課業。習。外		1 • 2 • 3 • 4
	学校教育の社会的・制度的・経営的な理解について必要な基礎理論・知識が習得できた	授。実。課業。習。外		1 • 2 • 3 • 4
こどもの	こどもの理解のために必要な心理・ 発達の基礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
理解	こどもの生活や状況、能力に応じた 対応ができた	授。実。課業 習 外		1 • 2 • 3 • 4
他者との	集団の中で自らの役割を見つけ与え られた役割を遂行できた	授 · 実 · 課 業 · 習 · 外		1 • 2 • 3 • 4
協力	他者と協力して課題に取り組む事が できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	挨拶、言葉づかい、服装、他の人へ の接し方など、社会人としての基本 的な事項が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
コミュニ ケーショ ン	こどもの発達や個性に応じて適切に 対応することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	こどもの声を真摯に受け止め、公平 で受容的な態度で接することができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
教科・教 育課程に 関する基	各領域の保育内容や各教科・道徳教育・特別活動についての知識や技能を身につけることができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
礎知識と 技能の習 得	幼稚園教育要領, 小学校学習指導要領, 中学校学習指導要領(理科)の内容等について理解できた	授·実·課 業 習 外		1 • 2 • 3 • 4
教育実践	こども達との関わりを想定して指導 案などを作成することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
双 自天成	こども達に対して適切なかかわりや 教育の実践を行うことができた	授·実·課 業 習 外		1 • 2 • 3 • 4
課題探求	自らの課題や苦手を認識しそれらの 解決に向けて学び続けることができ た	授•実•課業習•外		1 • 2 • 3 • 4
10木/25木水	教育における問題等に関心を持ち自 ら学ぶことができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
現在の課題(箇条書き)		現在の記	果題を解決するための具体的な計画(箇条	(き書)

自己評価シート<2年次末>

各項目の内容について、「授業で学習した(授業)・学外実習で実践した(実習)・課外等で経験した(課外)」のいずれかあてはまるものを〇で囲み(複数回答可)、自己評価してください。数字は最終ページにも転記してください

項目	·	評価する際に	まい浮かべた具体的な科目や活動・所感	評 価
学校教育 の理解	教育の理念・歴史・思想に対する基 礎理論・知識が習得できた	授•実•課業。外		1 • 2 • 3 • 4
	学校教育の社会的・制度的・経営的な理解について必要な基礎理論・知識が習得できた	授•実•課業。習•外		1 • 2 • 3 • 4
こどもの	こどもの理解のために必要な心理・ 発達の基礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
理解	こどもの生活や状況、能力に応じた 対応ができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
他者との	集団の中で自らの役割を見つけ与え られた役割を遂行できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
協力	他者と協力して課題に取り組む事が できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	挨拶、言葉づかい、服装、他の人へ の接し方など、社会人としての基本 的な事項が習得できた	授•実•課業。外		1 • 2 • 3 • 4
コミュニ ケーショ ン	こどもの発達や個性に応じて適切に 対応することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	こどもの声を真摯に受け止め、公平 で受容的な態度で接することができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
教科・教 育課程に 関する基	各領域の保育内容や各教科・道徳教育・特別活動についての知識や技能を身につけることができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
礎知識と 技能の習 得	幼稚園教育要領,小学校学習指導要領,中学校学習指導要領(理科)の 内容等について理解できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
教育実践	こども達との関わりを想定して指導 案などを作成することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
双 月天成	こども達に対して適切なかかわりや 教育の実践を行うことができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
課題探求	自らの課題や苦手を認識しそれらの 解決に向けて学び続けることができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	教育における問題等に関心を持ち自 ら学ぶことができた	授•実•課業。外		1 • 2 • 3 • 4
9ページに	現在の課題(箇条書き)		課題解決のための具体的計画(箇金	条書き)
書いた具体的な計画への取組度を3点満点ででいる。				
点				
/11/				

自己評価シート<3年次末>

各項目の内容について、「授業で学習した(授業)・学外実習で実践した(実習)・課外等で経験した(課外)」 のいずれかあてはまるものを〇で囲み(複数回答可)、自己評価してください。数字は最終ページにも転記してください

		できなかった	2=少しできた 3=できた 4	ニー十分できた
項目		評価する際に	思い浮かべた具体的な科目や活動・所感	評価
学校教育 の理解	教育の理念・歴史・思想に対する基 礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	学校教育の社会的・制度的・経営的 な理解について必要な基礎理論・知 識が習得できた	授。実。課業。習。外		1 • 2 • 3 • 4
こどもの	こどもの理解のために必要な心理・ 発達の基礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
理解	こどもの生活や状況、能力に応じた 対応ができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
他者との	集団の中で自らの役割を見つけ与え られた役割を遂行できた	授·実·課 業·習·外		1.2.3.4
協力	他者と協力して課題に取り組む事が できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	挨拶、言葉づかい、服装、他の人へ の接し方など、社会人としての基本 的な事項が習得できた	授•実•課業習•外		1 • 2 • 3 • 4
コミュニ ケーショ ン	こどもの発達や個性に応じて適切に 対応することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	こどもの声を真摯に受け止め、公平 で受容的な態度で接することができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
教科・教 育課程に 関する基	各領域の保育内容や各教科・道徳教育・特別活動についての知識や技能を身につけることができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
礎知識と 技能の習 得	幼稚園教育要領, 小学校学習指導要領, 中学校学習指導要領(理科)の 内容等について理解できた	授。実。課業習。外		1 • 2 • 3 • 4
教育実践	こども達との関わりを想定して指導 案などを作成することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
X D X X	こども達に対して適切なかかわりや 教育の実践を行うことができた	授。実。課業習。外		1 • 2 • 3 • 4
課題探求	自らの課題や苦手を認識しそれらの 解決に向けて学び続けることができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
林	教育における問題等に関心を持ち自 ら学ぶことができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
1000 501	現在の課題(箇条書き)		課題解決のための具体的計画(箇刻	条書き)
10ページに 書いた具体 的な計画へ の取組度を 3点満点で 評価してく ださい。				
点				
L X				

自己評価シート<教職実践演習(幼・小・中)初回>

各項目の内容について、「授業で学習した(授業)・学外実習で実践した(実習)・課外等で経験した(課外)」 のいずれかあてはまるものを〇で囲み(複数回答可)、自己評価してください。数字は最終ページにも転記してください

		できなかった	2=少しできた 3=できた 4	ニー十分できた
項目		評価する際に	思い浮かべた具体的な科目や活動・所感	評価
学校教育 の理解	教育の理念・歴史・思想に対する基 礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	学校教育の社会的・制度的・経営的 な理解について必要な基礎理論・知 識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
こどもの	こどもの理解のために必要な心理・ 発達の基礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
理解	こどもの生活や状況、能力に応じた 対応ができた	授·実·課 業·習·外		1.2.3.4
他者との	集団の中で自らの役割を見つけ与え られた役割を遂行できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
協力	他者と協力して課題に取り組む事が できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	挨拶、言葉づかい、服装、他の人へ の接し方など、社会人としての基本 的な事項が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
コミュニ ケーショ ン	こどもの発達や個性に応じて適切に 対応することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	こどもの声を真摯に受け止め、公平 で受容的な態度で接することができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
教科・教 育課程に 関する基	各領域の保育内容や各教科・道徳教育・特別活動についての知識や技能を身につけることができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
礎知識と 技能の習 得	幼稚園教育要領,小学校学習指導要領,中学校学習指導要領(理科)の 内容等について理解できた	授•実•課業習•外		1 • 2 • 3 • 4
教育実践	こども達との関わりを想定して指導 案などを作成することができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
扒目大以	こども達に対して適切なかかわりや 教育の実践を行うことができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
課題探求	自らの課題や苦手を認識しそれらの 解決に向けて学び続けることができ た	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
林煜休 水	教育における問題等に関心を持ち自 ら学ぶことができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
1100. 501-	現在の課題(箇条書き)		課題解決のための具体的計画(箇刻	条書き)
11ページに 書いた具体 的な計画へ の取組度を 3点満点で 評価してく ださい。				
点				
黑				

自己評価シートく教職実践演習(幼・小・中)終了時>

各項目の内容について、「授業で学習した(授業)・学外実習で実践した(実習)・課外等で経験した(課外)」 のいずれかあてはまるものを〇で囲み(複数回答可)、自己評価してください。数字は最終ページにも転記してください

	' '	できなかった	2=少しできた 3=できた 4	1=+分できた
項目		評価する際に	思い浮かべた具体的な科目や活動・所感	評価
学校教育 の理解	教育の理念・歴史・思想に対する基 礎理論・知識が習得できた	授。実。課業習。外		1.2.3.4
	学校教育の社会的・制度的・経営的 な理解について必要な基礎理論・知 識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
こどもの	こどもの理解のために必要な心理・ 発達の基礎理論・知識が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
理解	こどもの生活や状況、能力に応じた 対応ができた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
他者との	集団の中で自らの役割を見つけ与えられた役割を遂行できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
協力	他者と協力して課題に取り組む事が できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
	挨拶、言葉づかい、服装、他の人へ の接し方など、社会人としての基本 的な事項が習得できた	授·実·課 業·習·外		1 • 2 • 3 • 4
コミュニ ケーショ ン	こどもの発達や個性に応じて適切に 対応することができた	授·実·課 業·習·外		1.2.3.4
	こどもの声を真摯に受け止め、公平 で受容的な態度で接することができ た	授·実·課 業·習·外		1.2.3.4
教科・教 育課程に 関する基	各領域の保育内容や各教科・道徳教育・特別活動についての知識や技能を身につけることができた	授 実 課 業 習 外		1.2.3.4
礎知識と 技能の習 得	幼稚園教育要領,小学校学習指導要領,中学校学習指導要領(理科)の 内容等について理解できた	授•実•課業習•外		1.2.3.4
教育実践	こども達との関わりを想定して指導 案などを作成することができた	授•実•課業習•外		1.2.3.4
双 月天成	こども達に対して適切なかかわりや 教育の実践を行うことができた	授•実•課業習•外		1.2.3.4
課題探求	自らの課題や苦手を認識しそれらの 解決に向けて学び続けることができ た	授·実·課 業·習·外		1.2.3.4
	教育における問題等に関心を持ち自 ら学ぶことができた	授·実·課 業·習·外		1.2.3.4
1000	現在の課題(箇条書き)		課題解決のための具体的計画(箇	条書き)
12ページに 書いた具体 的な計画へ の取組度で 3点満して ださい。				
点				
黑				

自己評価の推移

自己評価シートに〇をつけた数字を転記してください。

	1=できなか	った 2=	=少しできた	3=でき	きた 4=	十分できた
項目		1年次末	2年次末	3年次末	教職実践演習 (幼・小・中) 初回	教職実践演習 (幼・小・中) 終了時
学校教育の理解	教育の理念・歴史・思想に対する基礎理論・知識が習得できた					
	学校教育の社会的・制度的・経営的な理解について必要な基礎理論・知識が習得できた					
こどもの理解	こどもの理解のために必要な心理・発達 の基礎理論・知識が習得できた					
CC 000 经折	こどもの生活や状況、能力に応じた対応 ができた					
他者との協力	集団の中で自らの役割を見つけ与えられ た役割を遂行できた					
	他者と協力して課題に取り組む事ができ た					
	挨拶、言葉づかい、服装、他の人への接 し方など、社会人としての基本的な事項 が習得できた					
コミュニケー ション	こどもの発達や個性に応じて適切に対応 することができた					
	こどもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができた					
教科・教育課程 に関する基礎知	各領域の保育内容や各教科・道徳教育・ 特別活動についての知識や技能を身につ けることができた					
識と技能の習得	幼稚園教育要領,小学校学習指導要領, 中学校学習指導要領(理科)の内容等に ついて理解できた					
教育実践	こども達との関わりを想定して指導案な どを作成することができた					
MANA	こども達に対して適切なかかわりや教育 の実践を行うことができた					
課題探求	自らの課題や苦手を認識しそれらの解決 に向けて学び続けることができた					
本超 体外	教育における問題等に関心を持ち自ら学 ぶことができた					
コメント:	年 月 日担当教員	コメント:	年	月 日担	当教員	